

日本骨髄バンクの現状（平成 20 年 3 月末現在）

	2 月	3 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,091	2,756	306,397	387,229
患者登録者数	195	200	2,412	24,690
骨髄移植例数	100	99	-	9,237

20 歳未満のドナー登録者数
 3 月 159 人
 合計 7,192 人（17 年 3 月～）
 51 歳以上のドナー登録者数
 3 月新規 86 人
 延長 258 人
 合計 10,506 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 平成 20 年度の事業計画・予算、通常理事会において可決承認

第 34 回通常理事会、評議員会が 3 月 21 日に開催され、平成 20 年度の事業計画、一般会計並びに特別会計収支予算などが可決承認されました。今年度の基本方針は、一人でも多くの患者救命を目指し、
 1．更なるドナー登録者の拡大のための事業、2．ドナーの方の骨髄提供意思を維持するための事業、
 3．コーディネート期間を短縮するための事業、を主な事業として取り組んでまいります。

新規事業としては、小中・高校・大学や専門学校に対する「出前授業」「かたりべ活動」の実施、公共広告機構による骨髄バンク支援キャンペーン CM に代わる映像素材の作成、などの予算が審議され、承認されました。また、橋本元一理事、奥原祥司評議員、および斎藤勝利評議員の異動に伴い、新たに福地茂雄氏が理事に、小田與之彦氏と岡本園衛氏が評議員に選出され、患者負担金等支援基金審査委員会の委員長には伊藤雅治氏、委員には木村紀氏、佐々木利和氏、鈴木利治氏の各氏が再任されました。

2 平成 20 年度診療報酬改定に伴う患者負担金の改定

財団では平成 20 年度診療報酬改定に伴い、患者負担金の値下げを 4 月 1 日より実施しました。改定した金額は以下の通りです。

ドナー確認検査手数料	現行 9,000 円	新 3,000 円（差額 6,000 円）
最終同意等調整料	現行 58,000 円	新 41,000 円（差額 17,000 円）
骨髄提供調整料	現行 66,000 円	新 49,000 円（差額 17,000 円）

4 人のドナー候補者の検査を行い、最終的に移植に至った場合の患者さんの負担金は、現行の 248,500 円から 190,500 円となり、58,000 円の減額となります（詳細は下記の表を参照）。財団では今後も更なる患者負担金の軽減に努めてまいります。診療報酬改定請願の署名活動にご協力いただいた皆様をはじめ、ご尽力いただいた関係者の皆様に対しまして、改めて感謝を申し上げます。

患者負担金のモデルケースの試算（ドナー候補者が 4 人で移植に至った場合）

（単位：円）

項目	現行	試算	減少額
患者確認検査料 SBT法（HLA-A,B,DR）	31,500	31,500	0
ドナー確認検査料 血液一般検査	8,000 × 4 = 32,000	8,000 × 4 = 32,000	0
ドナー確認検査手数料	9,000 × 4 = 36,000	3,000 × 4 = 12,000	24,000
ドナー傷害保険料	25,000	25,000	0
最終同意等調整料	58,000	41,000	17,000
骨髄提供調整料	66,000	49,000	17,000
合計	248,500	190,500	58,000

3 平成19年度実績報告（移植 1,027件、ドナー登録者数 38,003人）

平成 19 年度中に骨髄バンクを介して行われた骨髄移植は、過去最高の 1,027 件となり、骨髄バンク事業開始以来、初めて年度における移植件数が 1,000 件を超えました。また 19 年度中の新規ドナー登録は 38,003 人でした。骨髄提供いただいたドナーや登録ドナーの方々をはじめ、日本赤十字社、行政関係者、医療関係者、ボランティアの方々、ご支援いただきました全ての皆様に深く感謝を申し上げます。

4 地区普及広報委員、説明員および調整医師の活動条件の向上について

財団では、平成 20 年度事業計画として、既に 4 月から実施されているドナーコーディネーターの処遇改善の他、地区普及広報委員、説明員、調整医師の活動条件の向上としての処遇改善を目指しており、その改善内容については 4 月 18 日（金）の常任理事会において審議される予定です。具体的にはドナー登録会の開催・運営において中心となって活動していただいている地区普及広報委員、説明員の活動費を 3,000 円/日（現行 2,000 円/日）また多忙な中、ドナーコーディネーターにご協力いただいている調整医師の活動費は 5,500 円（現行 3,000 円）とする方向で、ドナー登録およびドナーコーディネーター実施面の充実を考えております。

5 国際協力の現状など

1) 国際協力の現状

		2008.1~3				～2008.3末 累計移植数
		新規登録患者数	全抗原適合*	コーディネータ数	移植数	
海外ドナーから国内患者へ						
日本	NMDP(米国)	7	7	5	0	110
	BTCSCC(台湾)	6	4	3	1	28
	KMDP(韓国)	5	4	0	0	13
	CMDP(中国)	1	4	3	0	0
計						151
国内ドナーから海外患者へ						
日本	NMDP(米国)	28	17	24	3	13
	BTCSCC(台湾)	0	0	0	0	0
	KMDP(韓国)	62	35	51	5	137
	CMDP(中国)	12	2	0	0	0
	その他の国**	—	—	—	0	22
計						172

* 1人でも適合したドナー候補者が見つかった患者の数。 **その他の国と地域は累計のみ掲載します。提供内訳は香港7件、ドイツ3件、英国2件、オーストラリア2件、ブラジル2件、ベルギー2件、オランダ1件、カナダ1件、シンガポール1件、フランス1件。

- 2) 骨髄バンクを介して2回提供された方（累計数） 417人
- 3) DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数） 256件

6 3月のドナー登録会、区分別登録者数

全国各地のボランティア団体等の協力のもとで行われているドナー登録会の3月の区分別登録者数は、献血併行型集団登録会/889人、献血ルーム/1,652人、集団登録会/55人、その他/160人でした。

7 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開	4月18日（金）17:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室
常任理事会	公開	5月15日（木）17:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室